

第47回全日本川柳2024年 広島大会

題 令和6年4月15日締切

「ふたたび」 名 雪 凜々 選（千葉）
 「こげる」 瀧 尻 善 英 選（青森）
 「自由吟」 真 島 久 美 子 選（佐賀）

日 時 令和6年6月16日（日）午前9時開場

会 場 JMSアステールプラザ

〒730-0812 広島市中区加古町4番17号

☎082（244）8000

第二次選者

江畑 哲男（千葉） 平田 朝子（熊本）
 佐藤 美文（埼玉） 三上 博史（栃木）
 西 美和子（兵庫）

表 彰 広島県知事賞 他

★入賞者には賞状とメダルを予定しています。

応募方法 参加用紙に住所・氏名・電話番号・学校

を記入の上、句箋用紙（各題二句・無記名）
 とともに郵送してください。

参加料は無料です。

投句先 〒530-0041

大阪市北区天神橋2丁目北1の11

ステップイン南森町905

一般社団法人全日本川柳協会 宛

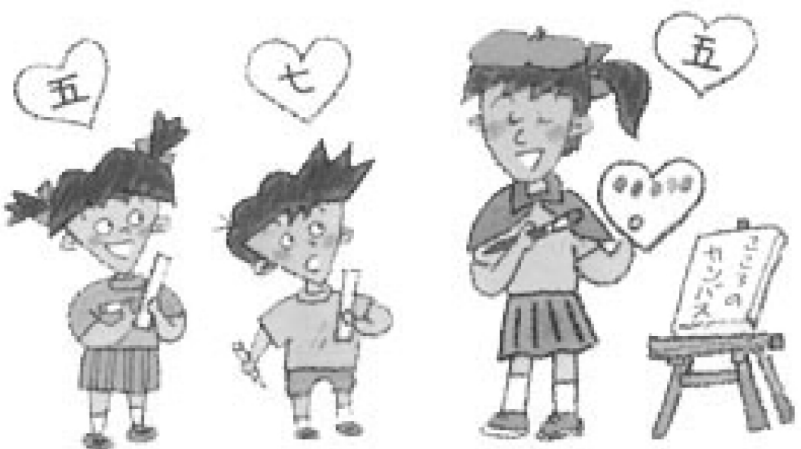
☎06（6352）2210

FAX 06（6352）2433

★後日、入選者には作品集を無料にて配布します。

川柳の書き方・川柳の作り方

川柳は五・七・五のリズムで人間をうたう詩です。ふだん私たちがしゃべったり書いたりしている言葉で、思ったこと、感じたことを自由に表現する詩です。川柳では、ひとりひとりの暮らしやいのちの喜び、楽しみ、悲しみ、怒りを詠（よ）むことができます。五・七・五さえ守ればあとは原則として自由ですから、俳句のような「切れ字」（何何や、何何かな）、「季語」（季節の言葉。月は秋を指す）、「文語表現（旧かな遣いなど）」にとらわれることもありません。面白いたとえを用いたり、表面的なことを言いあらわすだけでなく、その奥にあるもの（真実）を表現することにより、読む人にユーモアや風刺を感じさせます。川柳は、弱者（じやくしや）の弱みをかかったり、言葉の表面だけの語呂（ごろ）合わせや駄洒落（だじゃれ）で人を笑わせるものではありません。ユーモアは、川柳の特徴の一つですが、それは上品なおかしみや温かみの感じられるところに本当の値打ちがあります。



題[自由吟]

(自由に作る)

真島久美子選

題[こげる]

瀧尻善英選

題[ふたたび]

名雪凜々選

No.

氏名

住所

ふりがな

〒

都道
府県

男・女

学校名

TEL

立

(学年

年)

学校

ジュニア部門(小・中学生)

第47回全日本川柳2024年広島大会

No.

No.

No.